

関東学連新入生講習会

18校から120名が参加



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)

FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい



植芝道主による指導

関東学生合気道連盟新入生講習会は、六月十六日午後二時から四時まで、植芝守央道主を招いて東京・千代田区の日本武道館で開催され、十八校から百二十名が参加した。本部道場指導部からは植芝充央本部道場長代行を含め、六名が参加。講習の中で道主は、立ち方座り方の指導に始まり、入り身転換などの基本の体

群馬合気会四十周年演武大会は、六月八日群馬県高崎市文化会館にて植芝守央道主をお迎えして行われました。今回は植芝守央道主をはじめ、群馬県合気道連盟荒井会長、県内から大人十七支部、少年十四支部、二天学、スエーデン、オーストラリア、アルゼンチン合気会の皆様のほか、錦糸町合気道倶楽部小出武大、合気道高伝館針すな、合気道小林道場小林保雄師範にも素晴らしい演武を披露頂き、総勢約三百名による演武が行われました。演武会に先立ち行われた開会式では、会員全員が会場に入り七席の会場が座りきれない来場者で溢れるなか、植芝守央道主の

道歌

敵下段
同じ構への
中段に
上り下りに
移りかむるな

面打ち一教、入り身投げなどの基本技を指導。技の中で体捌きと呼吸法がどう活かされているかを説明し、受けの取り方も合わせて説明した。講習の最後に、道主は合気道の歴史と現況等について解説。「縁があったら、縁がなかったら合気道をせよ、続けて下さい」と新入生へ励ましの言葉を述べ、講習は盛況裡に締めくくられた。

平成26年度和歌山県地域社会指導者研修会

平成二十六年和歌山県(和歌山市)地域社会合気道指導者研修会が、六月二十一日・二十二日の二日間わたって和歌山県立武道館にて行われました。この研修会には和歌山県下はもとより奈良県からも参加があり、初日は百六十六名、二日目は百三十三名、延べ二百九十九名が集まりました。一日目は冷水照夫大会副実行委員長の開会の言葉の後、国歌斉唱、関係者・来賓のあいさつで始まり、梅雨の曇り空の下ではありましたが、午前は櫻井



横田師範の呼吸法

寛幸本部道場師範指導(受け・里館本部指導員)による片手取り・正面打ち基本技の稽古。午後からは横田愛明本部道場師範による基本技に続き応用技・変化技の稽古が行われました。二日目は朝から雨天ながらも、午前が櫻井師範による呼吸法、一教、入身投げ、四方投げなどを中心とした基本技の稽古、晴れ間がのぞき出した午後は横田師範の諸手取り・後ろ両手取り・後ろ両肩取りなどの応用変化技の活気ある稽古が行われ、参加者は梅雨を吹き飛ばすほどの熱気につつまれました。稽古後は、各道場の代表者が横田師範から修了証が授与され、横見勝大会副実行委員長の閉会の

全日本少年少女合気道錬成大会

平成二十六年全日本少年少女合気道(合気道)錬成大会が、七月二十日(日)午前十一時から、東京・千代田区の日本武道館で開催される。

全国の小・中学生を対象に基本錬成を主眼とし、合気道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成を目的とする。錬成内容は、基本錬成(基本技の稽古)、演武(各団体ごと二分間)の自由演武)。



宮本師範の指導

宮城県でも指導者研修会

平成二十六年宮城県(仙台市)地域社会合気道指導者研修会(主催)公益財団法人日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、公益財団法人合気会、宮城県公立武道館協議会、公益財団法人宮城県スポーツ振興財団・主管)宮城県合気道連盟・後援)日本武道館協議会、宮城県武道協議会)は六月二十一日、二十二日の二日、宮城県第二総合運動場の宮城県武道館(仙台市太白区)で行われた。本部道場からは宮本鶴蔵本部道場指導部師範と、小山雄二同指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を白川勝敏師範と角田稔師範が務めた。参加人数は学生を含め十七団体より百八名が参加。二十一日は開会式にて開会にあたり久道裕志宮城県第二総合運動場長より「日本の伝統ある合気道指導者



荒井師範による演武

ご来場頂いた皆様、ご後援を賜りました(公財)合気会、全日本合気道連盟ほか各社様のお陰と、会員一同心より感謝申し上げます(事務局 荒井宏介)でございませう。本日に有難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。(群馬県合気道連盟)講習会後、閉会式が行われ久道場長より受講者に修了証が授与された。最後に宮本師範より「自分達が付いている指導者になり、習って下さい。指導者が言えない事、伝えられない事を感じていただくことが稽古を習得する意味で非常に大切なことだと思います」と講評がなされ、研修会は締めくくられた。

入身転換

今年、皇太子殿下がそのスイスを公式訪問された。歓迎式典は北西部のヌーシヤルで行われた。百五十年前に江戸幕府と修好通商条約を結んだ使節団の団長がこのヌーシヤル出身で、加えて現大統領も同地の出身だ。皇太子殿下は大統領主催の歓迎宴会のあと、当時の使節団の団長が日本から持ち帰った写真などが展示されている地元の博物館を訪ねられた。NHKのニュースで報道されていたが、嬉しいことに博物館の前で合気道衣装を着た子供達がスイス国旗と日の丸の小旗を振って歓迎するシーンが目に入った。

この報道について多田師範に伺ったところ、ヌーシヤルでは五年前にスイス合気会の四十周年記念講習会と演武会を行ったとのことであった。合気道新聞の第五八五号にその時に参加された月窓寺道場の坪井先生の日記がある。引用するところ、「スイスで多田師範が初めて合気道の稽古を行ったのは一九六五年のことであり、その後暫くしてスイス合気会が組織され、主としてチューリヒに在住していた池田昌富師範によって指導されてきた」とある。スイスのサンモリッツ道場開設者の菅原美喜子先生や他にも多くの方々がスイスにしっかりと根付いたものと思われる。十日後には全日本少年少女合気道錬成大会が行われる。次代を担う子供達に大いに期待したい。(可児 晋)

東海大

道主迎え50周年を祝う

東海大学合気道部は、創立五十周年という節目の年を迎え、記念行事として三つの行事を行った。



東海大学体育会合気道部 創立五十周年記念パーティー

一つ目は、毎年四月二十九日の例大祭とその後の故有川師範の墓参りである。今回は記念行事として、新宿駅に集合しチャーターしたバスで岩間の合気神社大祭に参列・参拝をした後、故有川師範の墓参りを行った。天候にも恵まれ、遠く新潟からの参加を含め多くの卒業生が参加した。

二つ目は、現役の学生と卒業生との合同稽古を六月二十一日に東海大学武道館で行った。現役の学生と卒業生四十名以上の参加者を得て、内田師範指導のもと稽古に励み、久々に大学の武道館で稽古をする卒業生達も学生だった頃を懐かしみながらも楽しく汗を流した。

三つ目は、記念祝賀会を六月二十二日、霞が関ビル東海大学校友会館で開催した。来賓、大学関係者、卒業生、学生を含め総勢約百三十名が参加した。記念式典実行委員長の大内和喜の挨拶でスタートし、来賓として、植芝守央道主をお迎えして、ご祝辞を頂戴した。「五十年前と比べて現在の合気道の驚異的な発展は、開祖植芝盛平翁が創始



藤田師範、受けは藤井師範

藤田先生を偲んで

北海道連会長・藤井幸一

藤田昌武先生との出会いは、学生時代本部道場での稽古でした。本部の師範とは全く知らず若気の至りで挑みましたが、ここで初めて先生との出会いがありました。先生は、学生時代本部道場での稽古で、先生が現れました。しかも受けは私が担当でしたので「うそだろう」と思った再会でした。

十年にわたり、先生の受けをしっかりと取らせていただきました。頭を打たないように、肘を痛めないように必死で先生の受けに耐えていたことがとても懐かしく思い出されます。先生の指導は、捌き、受身を大切にしています。一方、先生は本部道場の総務部長の役割を担っていたことも組織運営等に

した合気道そのものが素晴らしいことばかりで、吉祥丸二代道主により国内はもとより海外へ広めていく努力をされたこと、その中で大学における合気道部の役割が大きく貢献している、とりわけ東海大学合気道部が五十年という伝統を築き、これからの発展してほしいというお話しを頂き、会場から多くの拍手が沸き起こった。

六月二十一日、日本女子大学合気道部創部五十周年記念式典が、東京池袋のホテルメトロポリタンにて約百五十名が参加して盛大に開催された。

式典には、本部道場から、植芝守央道主をはじめ、三十年以上にわたり日本女子大学の指導をいただいた遠藤征四郎師範、現在指導をいただいている小谷佑一指導員、また大学からは合気道部顧問の本間健先生

に臨席を賜わった。植芝守央道主はご祝辞の中で、千葉和雄師範、藤平明師範、遠藤師範、小谷指導員と、これまでご指導くださった歴代の先生方が学生達と共にこの合気道部の歴史を築いてこられたこと、五十年前から現在まで世界中で合気道の輪が広がっていく過程で吉祥丸二代道主が学生合気道に強い思いを持っておられたこと、日本女子大学合気道部に

とでも詳しく、北海道連盟の前身の北海道支部設立時に沢山の助言をいただきました。又、北海道大学合気道部設立、北海道学生合気道連盟設立にも多くの指導をいただきました。北海道の合気道はまさに先生とともに成長してきました。これからも先生の教えを大切に稽古に励みます。藤田先生ありがとうございました。

北海道合気道連盟の春季講習会は、桂田英路本部道場指導部師範をお招きし、六月十四、十五の両日、千歳市総合武道館にて開催致しました。例年になく長引く暖かい雨のなか、道内各地の道場、各大学合気道部から約百五十三名の参加者が二日間に渡り清々しい汗を流しました。

日本女子大

神奈川合気道大会に42団体270名が参加

26年度都連主催の錬成大会開く！

北海道連盟が春季講習会

関西学連研鑽会11校103名参加

桂田師範は、相手の線上

同じく学生連盟も桂田師範と汗流す

は女性が合気道をするのがまだ珍しかった時代に他の女子大学に先駆けて創部し、現在も関東学生合気道連盟で活発に活動していることなどを紹介された。

その後、六代・及川晴美先輩の乾杯を皮切りに、どの世代のOGも、女子大らしく、お料理を楽しみ、歓談で盛り上がった。また、初代山中淳子先輩のご主人で、部の設立当初から指導をいただいた早稲田大学の山中叶様から、当時の両校の交流の思い出話をしていただいた。続いて、新潟大学・学習院大学・早稲田大学の現役学生の方々からご祝辞をいただき、和気あいあいとした雰囲気のまま、日本女子大学合気道部

が続き、四百畳の武道場も熱気溢れる演武で一杯となった。演武大会の締め括りとして植芝先生の迫力ある演武が行われた。大会後は、場所をソシア二一(新横浜)に移し懇親会が和やかに行われ、十回目の大会に合わせて縦と横の繋がりをも更に深めて行く懇親の場となった。

学生達が合気道を通じて、貴重な経験をしたいけるよう、OG会としても共に歩んでいければと思う。(日本女子大学合気道部OG会(目白合気会)幹事長・二十五代・田中亜紀子)

平成二十六年都連主催の錬成大会開く！ 東京都合気道連盟主催による平成二十六年度東京都合気道錬成大会が、六月八日東京武道館(足立区)第一武道場にて開催された。関昭二本部道場指導部師範を講師として招き、四十団体二百名が参加した。開会に先立ち藤城清次郎連盟理事長から挨拶と関師範の紹介があり、準備運動の後、十二時十五分から一時間半の講習会が行われた。関師範は技を一つ一つ丁寧に説明を加えて見取りを見せて指導された。閉会後は日本教育会館喜山俱樂部にて講師を招いての情報交換会が行われた。

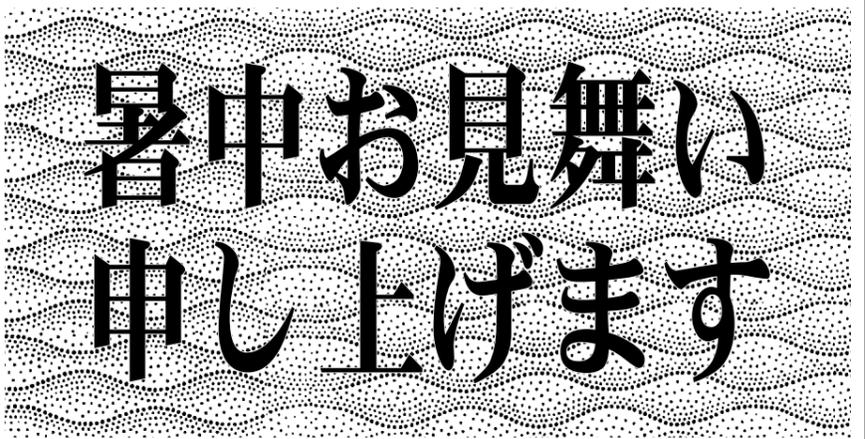
平成二十六年度関西学生合気道連盟研鑽会は、六月十四日に大阪市の修道館で行われた。研鑽会には伊藤真本部道場指導部師範の指導が行われ、加盟校十一校百三名が参加した。新入生が入部してまた二ヶ月程度であることから、基本的な技を中心に稽古が行われ、伊藤師範の技をしっかりと見詰める学生の姿から、師範の一挙手一投足を見逃さず学ぼうとする熱意を感じた。また、伊藤師範は上回生から一回生まで様々な学生を受け呼び稽古を行い、多くの学生は師範の技を直に体験することが出来た。師範が説明された重心を低く保つこと、姿勢を正すことで自身の重みをしかり相手に伝えることが出来ることを、受けを取った学生は肌で感じる事が出来たであろう。(関西学生合気道連盟 矢野勝)

それを楽しんでいけるのが印象的でした。自分自身の動きについて科学的に考える貴重な時間を頂きました。後日、筋力の使い方や重心、体の伸ばしとその方向等、未熟ながら真似をして初心者への指導を行って見たところスムーズに理解してもらえました。ご指導頂いたことを今後の稽古と指導にいかせるよう精進したいと思います。(札幌合気道会 佐藤まゆみ)

同じく学生連盟も桂田師範と汗流す 北海道学生合気道連盟は、六月十四日、千歳市開基記念総合武道館において、平成二十六年度春季講習会を行いました。当日は本部道場から桂田英路師範をお迎えして汗を流しました。本講習会は、北海道合気道連盟春季講習会の一環として執り行われ、学生連盟を対象とした講習は、十四日の前半の稽古で行われました。学生連盟の稽古では、北海道大学から二十二名、室蘭工業大学から七名、酪農学園大学から七名が参加し、桂田先生の丁寧な説明のもと、呼吸法を中心に、受けの身体を中心から崩すという点について指導していただきました。身体の動きを小さくまとめるという視点は、今後の稽古にも活かせる大変貴重な学びものでした。十四日の後半、及び十五日の稽古では、北海道連盟の講習会に学生も参加しました。普段は稽古することのない社会人の方々と共に稽古をし、両日を通して大変有意義な講習会となりました。(北海道学生合気道連盟委員長 高橋香帆)

明を加えて見取りを見せて指導された。閉会後は日本教育会館喜山俱樂部にて講師を招いての情報交換会が行われた。

同じく学生連盟も桂田師範と汗流す 北海道学生合気道連盟は、六月十四日、千歳市開基記念総合武道館において、平成二十六年度春季講習会を行いました。当日は本部道場から桂田英路師範をお迎えして汗を流しました。本講習会は、北海道合気道連盟春季講習会の一環として執り行われ、学生連盟を対象とした講習は、十四日の前半の稽古で行われました。学生連盟の稽古では、北海道大学から二十二名、室蘭工業大学から七名、酪農学園大学から七名が参加し、桂田先生の丁寧な説明のもと、呼吸法を中心に、受けの身体を中心から崩すという点について指導していただきました。身体の動きを小さくまとめるという視点は、今後の稽古にも活かせる大変貴重な学びものでした。十四日の後半、及び十五日の稽古では、北海道連盟の講習会に学生も参加しました。普段は稽古することのない社会人の方々と共に稽古をし、両日を通して大変有意義な講習会となりました。(北海道学生合気道連盟委員長 高橋香帆)



国際合気道連盟
 理事長 ピーター・ゴールズベリ
 事務総長 井沢 敬

全日本合気道連盟
 理事長 尾崎 响
 常任理事 林 典夫
 同 宮本 鶴藏
 同 小林 幸光
 他一同

岩手県合気道連盟
合気道大槌道場
 道場長 澤 智満也
 副道場長 里 館 智満也
 道場生一同

青森道場
 道場長 沼田 秀輝
 副道場長 工藤 孝宜
 事務局長 工藤 孝一
 会員一同

青森県合気道連盟
 会長 田辺 孝美
 理事長 米谷 恵司
 事務局長 高坂 修一

オホーツク中湧別道場
 道場長 尾崎 响 指導部長 松田茂満
 道場長代行 久保田雅士 事務局長 久保田真弓
 〒099-6336
 北海道紋別郡上湧別町中湧別二二三
 電話 FAX 〇二五八六二一四四

東北合気道連盟
 会長 日高 浩(岩手県)
 理事長 船越光雄(山形県)
 副会長 沼田秀輝(青森県)
 同 横山清一(秋田県)
 同 白川勝敏(宮城県)
 同 追分拓哉(福島県)

北海道合気道連盟
 会長 藤井 幸一
 理事長 南 雲州治
 他 会員一同

東京都合気道連盟

合気道修練道場自然館
 館長 吾妻 正義
 〒350-1335
 埼玉県狭山市根岸一七七一六
 電話 〇四一九五三九六七四

群馬県合気道連盟
前橋市民合気会
 会員一同

群馬県合気道連盟
 代表 荒井 俊幸

栃木県合気道連盟
 会長 大谷 英男

水戸合気会
水戸市合気道スポーツ少年団
 会長・団長 飯島 悦男
 会員・団員一同

取手合気会
 取手市体育協会合気道部
 取手市合気道スポーツ少年団
 取手市レディース合気道クラブ

茨城県合気道連盟
 会長 藤枝 一弘
 理事長 飯島悦男 常任理事 瀬尾 寿
 常任理事 稲垣繁實 同 桑原 隆
 同 渡引好文 理事・監事一同

宮城県合気道連盟
 会長 白川 勝敏
 理事長 角田 稔
 (事務局) 仙台市泉区大沢二一六一九 渡邊方
 senshin@s3.dion.ne.jp

大宮合気道倶楽部

合気道大宮道場
 道場生一同

蓮田合気会

久喜合気道同好会

入間市合気道連盟
 会長 関戸 章弘
入間幸武館道場
 館長 中島 正吉

草加合気道研究会
 会長 中道 一也
 会員一同
<http://soukanikken.webnode.jp/>

埼玉県三郷市
三郷合気道会

志木市合気道連盟
志木合気会
 代表 三輪 明
 会員一同
 ホームページ <http://www.shiki-aijikenet/>

合気道明心会
 会員一同

A&P合気道石垣道場
 道場長 石垣 晴夫
 〒330-0061
 さいたま市浦和区常盤九一八一五
 電話 〇四八二二二〇六五〇

野田合気会
 会長 山中 紀光
 会員一同

北総合気会
 代表 山田 博信
 会員一同

柏合気会
 会員一同

合気道花見川道場
 道場長 等々力敏夫
 〒267-0046
 千葉県花見川区花見川六一〇二〇一
 電話 〇四三二二五八五七二二三

千葉県合気道連盟
 会長 高橋 嗣慶
 理事長 吉川 滋

浦和合気会
 会長 林 昭男

荒川合気会
 会長 酒井 光雄

港区合気会
 代表 赤坂 圭司

大田区合気道会
 会長 尾崎 响
 事務局長 鈴木 義宣
 〒143-0024
 東京都世田谷区砧六一二六一十
 電話 〇三三四二二四〇二

祖師谷合気会
 会長 中村 文子
 会員一同
 〒157-0073
 東京都世田谷区砧六一二六一十
 電話 〇三三四二二四〇二

中野区合気道連盟
中野区合気道会
 松本 肇

合気道臥龍会
 代表 瀬川 一之

中央区合気会
 会長 糸田 寛人

葛飾合気会
 会長 田中 満夫
 〒133-0051
 江戸川区北小岩四二二一〇
 電話 〇三三三六二二〇三四

合気道熊野塾

道場長 須川 勉
和歌山県新宮市元鍛冶町一五一

鹿児島県合気道連盟

理事長 山口 和文
副理事長 戸井 正一
同 長 洋 孝

江戸川環七合気道クラブ

木下悦子

江戸川区合気道連盟

理事長 藤城清次郎
事務局 藤城清次郎
事務所 江戸区南小岩一丁目二二番六号
電話 03-3677-2246
FAX 03-3677-2566
e-mail: edogawakido@ymail.plala.co.jp

合気道進藤道場

道場主 進藤 芳子
〒113-0074 江東区東砂一丁目二

新宿合気会

会員一同

神奈川県合気道連盟

会長 松田 良昭
理事長 武田 義信

合気道青葉塾道場

本 田 靖 生
事務局 土曜稽古会 木曜稽古会 日曜特別稽古会
〒225-0001 横浜市青葉区すずき野三丁目一
番六号 電話 045-902-1808

大和合気道クラブ一同

〒510-0433 相模原市緑区橋本五十二丁目二

合気道五十嵐道場

SHONAN HAYAMA
葉山町合気会
師範 若林忠晴(合気会八段)
道場長 後藤一雄(合気会六段)

合気道野比道場

合気道石芯塾
沼津合気会 富士合気会 御殿場合気会 静岡合気会
三島合気会 大仁合気会 函南合気会 長泉合気会
富士八合会 蒲原合気会 磐田合気会 熱海合気会
富士宮合気会 富士吉田合気会 伊豆合気会 熱田合気会
沼津童夢の会 富士童夢の会 他関連道場
http://n-akido.net/

山梨県合気道連盟

理事長 若尾 重廣
事務局 千四〇〇一〇六四
甲府市下飯田二丁目三二番六〇二
土屋安勇理事長

富山合気会

代表 島 恵司
道場 県営富山武道館
黒部市練成館

岐阜県合気道連盟

会員一同

愛知県合気道連盟

会員一同

尾張合気会

会長 滝本 清三

央名会
氣守道場

澤田 俊晴

大手前学院合気道教室

道場長 岩崎 一基
〒455-0044 名古屋市中区築三町三十一番六号
電話 051-253-0745

合気道四日市合気会

会長 畝原 正典
外 会員一同

滋賀県合気道連盟

会長 小川 良一
副会長 宇野 正均
理事長 金子 均

大阪府合気道連盟

理事長 嶋本 勝行
副理事長 阿部 豊雲
副理事長 木村 二郎
他 会員一同

合気道 大阪武育会

木村 二郎
上村 和康

公益財団法人
大阪合気会

恒心道場
茨木市合気道連盟
大坂 恒

公益財団法人合気会
合気道大阪道友会

会長 芋野 光弘

相生會

堀井 悦二

京都府合気道連盟

会長 坂根 弘基
理事長 前川 信雄

京都合気会

代表 小山 照雄
会員一同

奈良県合気道連盟

理事長 窪田 育弘
副理事長 阿部 豊雲
副理事長 藪内 啓壽

合気道 萬葉塾

米川 憲久
〒643-0101 奈良県橿原市今井町三丁目十番五十八号

和歌山県合気道連盟

会長 九鬼家隆 五味田聖二
副会長 天谷一郎 寺本伊佐武
竹中日出雄 冷水照夫
事務局 和歌山県岩出市堀口二〇九
電話 073-61-1750

岡山県合気道連盟
合気道正武会

主席師範 壬生川 堯一
門下生一同

合気道せいぶ館

館長 中尾 眞吾
道場長 濱崎 正司

(一社)広島県合気道連盟
合気道北平塾

北平 雅一

山口県合気道連盟

会長 中村 克也
外 会員一同

合気道敷島塾

会長 工藤 泰助
傘下道場一同
〒773-0025 徳島県小松島市中田町海ノ内二丁目三
電話 0875-1321280

愛媛県合気道連盟

会長 鈴木 茂
理事長 橋田 一美

合気道 合心館

館長 谷本 敏夫
〒791-1803 松山市美沢二丁目一
電話 FAX 089-933-4333
http://aishinkan.sakurane.jp/

武産合気凌雲館

師範 正岡 英樹
道場長 舛田 玲子
〒783-0084 高知県南国市稲生字朴庵二二番四十九
電話 FAX 088-815-1581

合気道立志館

師範 正岡 克美
道場長 谷口 美樹
〒760-0003 香川県丸亀市本町四丁目一
電話 0877-5455149
FAX 0877-1211690

高松合気会

会長 西原 浩
〒760-0003 香川県高松市扇町一丁目三十三番三十八
電話 FAX 087-821-8704

鳥取県合気道連盟

会長 松浦 一夫
鳥取市合気会 合気道倉吉道場
合気道鳥取道場 米子合気会
倉吉合気会

熊本合気会

水前寺道場長 高本 和宜
合志道場長 多田 広明
会員一同

歩々起清風
合気道祥平塾

菅沼 守人
〒812-0893 福岡市博多区那珂五丁目二番三二号
TEL FAX 092-432-1914

公益財団法人 茨城支部道場

道場長 植芝 守央
道場長代行 植芝 允央 指導部 大和田幸正
相談役 磯山 博 永島義道
顧問 海老澤五郎 磯山俊博
同 藤枝一弘 秋本英裕
総務部長 稲垣繁實 同 川上俊明
指導部 渡引好文 同 平澤憲次

韓国

大韓合気道会二十周年記念行事は、六月二十日から六月二十二日、韓国のソウル市にて、植芝充央合気道本部道場長代行を招き、開催された。

二十日は、大韓民国日本国大使公邸を訪問し、会食を行った。別所浩郎在日大韓民国日本国大使館特命全権大使、山後貴弘広報文化院副院長、常盤木祐一広報

文化院一等書記官、住吉玄徳、二等書記官、植芝本部道場長代行、五十嵐和男合気道五十嵐道場師範、尹大玄社団法人大韓合気道会会長、尹俊桓社団法人大韓合気道会指導員、山野内扶氏内田直人本部道場指導部指導員、徳田雅也同指導員が列席し、合気道の歴史、韓国での合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。二十一日は、午後から植芝道場長代行による講習会が約一時間半、ソウル市内の龍江初等学校にて行われ、二十道場、参加者は約五百名だった。その後、同市内のレストランに会場を移し、大韓合気道会二十周年記念祝賀会が開かれた。初めに尹会長から挨拶があり、植芝道場長代行大使館を代表し、住吉二等書記官、五十嵐師範が祝辞を述べた。二十二日は、午前講習会、午後から演武大会が行われた。講習会は五十嵐師範が一時間、その後、植芝道場長代行が一時間半の稽古指導を行った。植芝道場長代行は、基本的な技を中心に二日間の稽古を展開した。演武大会は韓国全土から二十道場、約五百名が演武を行った。日本から駆け付けた、木下悦

子氏、平野潤氏も演武を行い、尹会長、薄本清三尾張合気会師範、五十嵐師範、そして演武大会の最後に植芝道場長代行が総合演武を披露した。二日間という短期間の稽古にもかかわらず、参加者は皆充実した稽古、また演武大会に満足していた。今回の行事をはじめ、合気道が日韓交友の架け橋になることを願っている。

書記官、五十嵐師範が祝辞を述べた。二十二日は、午前講習会、午後から演武大会が行われた。講習会は五十嵐師範が一時間、その後、植芝道場長代行が一時間半の稽古指導を行った。植芝道場長代行は、基本的な技を中心に二日間の稽古を展開した。演武大会は韓国全土から二十道場、約五百名が演武を行った。日本から駆け付けた、木下悦

にした講習会指導をする事に心掛ければならないと感じた。短い滞在ではあったが、また来年も再会する事を約して、かの地を後にした。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

週末講習会に百名
私(横田)は、六月十二日から十七日までDAN(タナミック・合気道・ノケ)主催の講習会に招かれ、講習と審査を行った。DANは現在、会長ジョン・エマソン氏が英国人であり、団体は英国、ドイツ、ベルギー等に広がっており、今回の開催地はイングランド、ニューカッスルから車で三十分程にある静かで緑と古城の美しい町、ダラムのスポーツ会館で行われた。

講習会が行われ、翌十五日は午前、午後各一回の講習会の後、二十六名の初段審査を行った。今回で四度目になるこの講習で会員たちも大分慣れてきた様子ではあるが、これからも一回、講習会等でますます指導していくことが重要であると感じられた。(本部道場指導部師範 横田愛明)

同協会は、会長ガジェフ・ザウルベック氏とタギロフ・フラーミル氏が中心となり、合気道の普及に尽力している。今回も国内千km離れた地域からの参加が多く、ロシア連邦内での合気道に対する理解の深さが感じられた。この講習会はサンクト・ペテルブルクから三日間、市内のオリンピック研修センター柔道場で行われた。同協会の会員のロシア国内四十四か

二道場で六十五名の規模となった。初日は、前半の指導者を中心とした指導。二日目は、一時間の講習を三回、最終日は午前と午後で二時間を二回の講習となった。約半数が白帯のため基本技を中心にしながら時折応用技に発展させる形で講習を進めた。全ての講習に参加する中国人もおり、また、若者の参加が多く、これからの中国における合気道発展の可能性を感じた。(本部道場指導部師範 藤巻宏)



前列左から五十嵐師範、尹会長、別所特命全権大使、植芝本部道場長代行



植芝本部道場長代行の自身投げ

私(栗林)は六月五日から十日まで、スペイン合気会(ペペ・ガルシア会長)主催講習会指導のため、イベリア半島南東部に位置するムルシア州の州都ムルシア市を訪問した。

私自身二十年前に一度スペインを訪れた事はあるが、講習会での訪問は初めての事である。しかし、ムルシアは本部道場にも毎年来るベドロ氏の活動場所でもあり、今回もあらゆる面でベドロ氏にお世話になった。

六日はベドロ氏が所有する

午前一回の稽古及び昇段級審査を行った。参加者は、講習会会場は、上海西国際

近年、スペインでは本部道場指導部の指導者による講習会も各所で開かれるようになり、今まで以上に本部道場とのつながりが強くなってきているのである。我々もその期待に応えるべく、しっかりと基本を大事

この週末講習会には現地インクランド会員やドイツ、ベルギー、の会員をはじめスコットランド、アイルランド、オランダ、ブルガリアの本部会員達も含まれ、約百名が参加した。十四日、午後より二回の

講習会が行われ、翌十五日は午前、午後各一回の講習会の後、二十六名の初段審査を行った。今回で四度目になるこの講習で会員たちも大分慣れてきた様子ではあるが、これからも一回、講習会等でますます指導していくことが重要であると感じられた。(本部道場指導部師範 横田愛明)

同協会は、会長ガジェフ・ザウルベック氏とタギロフ・フラーミル氏が中心となり、合気道の普及に尽力している。今回も国内千km離れた地域からの参加が多く、ロシア連邦内での合気道に対する理解の深さが感じられた。この講習会はサンクト・ペテルブルクから三日間、市内のオリンピック研修センター柔道場で行われた。同協会の会員のロシア国内四十四か

二道場で六十五名の規模となった。初日は、前半の指導者を中心とした指導。二日目は、一時間の講習を三回、最終日は午前と午後で二時間を二回の講習となった。約半数が白帯のため基本技を中心にしながら時折応用技に発展させる形で講習を進めた。全ての講習に参加する中国人もおり、また、若者の参加が多く、これからの中国における合気道発展の可能性を感じた。(本部道場指導部師範 藤巻宏)

東南アジア巡回指導 中国

上海

私(難波)は、六月六日から十日まで東南アジア巡回指導の一環として、中華人民共和国の上海へ派遣された。私にとっては三度目、七年ぶりの上海巡回指導である。十日十四時、上海浦東国際空港に到着。陳徳明氏(上海合気会)、野倉昌子女史(上海国際合気道愛好会)、ウルリッチ・M氏

(上海西郊合気道会)らの出迎えを受けた。上記三団体をそれぞれ訪問し稽古を行った。上海合気会では、六日午後、九日午後二回の稽古と昇段審査を行った。杭州会場は、楊浦道場、参加者は四十名。昇段審査では三段一名、二段三名、初段八名が合格した。今年上海合気会会員のみの参加の講習会であった。上海国際合気道愛好会で

は、七日午前、七日午後の二回稽古を行った。会場は、建西西路道場で、参加者は八十名。七日の稽古には、上海合気会、上海西郊合気道会、杭州合気会、蘇州小林道場の四団体が参加した。野倉昌子女史、昌子夫婦が月一回、日本から訪れ、指導をされている、これからも堅実な発展が期待できる。上海西郊合気道会では、七日午後二回の稽古と八日



東南アジア巡回指導の一環として、私(藤巻)は講習会指導のため六月十三日

北京

から十六日まで、中国・北京を訪れた。現地では北京合気会のウリアム師範にお世話になった。講習は市内のスポーツ・



二道場で六十五名の規模となった。初日は、前半の指導者を中心とした指導。二日目は、一時間の講習を三回、最終日は午前と午後で二時間を二回の講習となった。約半数が白帯のため基本技を中心にしながら時折応用技に発展させる形で講習を進めた。全ての講習に参加する中国人もおり、また、若者の参加が多く、これからの中国における合気道発展の可能性を感じた。(本部道場指導部師範 藤巻宏)

講習会が行われ、翌十五日は午前、午後各一回の講習会の後、二十六名の初段審査を行った。今回で四度目になるこの講習で会員たちも大分慣れてきた様子ではあるが、これからも一回、講習会等でますます指導していくことが重要であると感じられた。(本部道場指導部師範 横田愛明)

同協会は、会長ガジェフ・ザウルベック氏とタギロフ・フラーミル氏が中心となり、合気道の普及に尽力している。今回も国内千km離れた地域からの参加が多く、ロシア連邦内での合気道に対する理解の深さが感じられた。この講習会はサンクト・ペテルブルクから三日間、市内のオリンピック研修センター柔道場で行われた。同協会の会員のロシア国内四十四か

合気道探求48号 7月20日発売

- 道主対談 中村麻美(画家)
- ふるさと案内 鹿見島
- 第五十二回全日本合気道演武大会
- 技法講座 座技正面打ち、入り身投げ、小手返し
- 合気道人生 藤井克利
- 師範の横顔 大江勝、本澤俊三
- 日本武道の中の合気道 加来耕三
- 「教える」を考える 貝塚茂樹

各道場の昇段者

5 月 15 日 ~
6 月 14 日
(公財)合気会登録

【四段】

◆秋山兄弟合気道道場=古谷綱義◆旭合気道クラブ=石黒美樹◆長崎氣和会=齋田俊浩◆熊野塾=F.Charles, B.Jose, N.Christian◆合気道武友会=秋永暁◆四街道合気会=徳丸雄一◆小林道場=A.Rezepov◆いわき合気会=谷本達哉◆青葉塾道場=栗山正雄、本多浩◆入間幸武館道場=杉田達◆岩手釜石玄武館=佐々木孝弘◆GERMANY=J.Linkweiler, L.Andreas, F.Wenselowski, H.Herrmann, J.Lintermann, M.Bohler, H.Reusch, M.Dohr, R.Kapteinat, M.Navarro, I.Anthopoulos, B.Kerz, M.Steinert◆AUSTRIA=T.Kornfeind◆IRAN=N.Rahimi, A.Hendi, T.Mojarad, A.Jahangiri, A.Peikani, A.Ali◆FRANCE=B.Sabouret◆U.S.A. =J.Montano, P.Giudici, M.Olympia, S.Leo, D.Fortunato◆NEWZEALAND=B.Brown◆U.K. =M.Chahi◆RUSSIA=B.Rinchine◆SWITZERLAND=C.Lopez◆KYRGYZ=T.Shaimkulov, J.Shaiykov, A.Kolpakov◆韓国=李昊祐

【参段】

◆青森道場=山田一則、古川直弘◆厚木合気道クラブ=飯嶋等◆茨城県合気道連盟=安部雅俊、J.Robin, M.Troop◆長崎氣和会=牟田有司◆熊野塾=R.Gabriel, M.Sylvia, L.Loic, H.Frederic, V.Gerard, B.Olivier, D.Beatrice, B.Jaring, C.Alexis, D.Aleksey, V.Fabienne◆群馬合気会=中村貴子、中村彰男◆郡山合気会=細貝明彦◆江東区合気会=水寄僚子◆合気道武友会=西見純子◆小林道場=周阜儒、R.Petrovic, V.Glavcic, M.Lazic◆昭島合気道会=木村憲治、坪坂丘之◆祥平塾=岡留春美◆合気道神戸=B.Bateman◆清進塾=木村秀和◆川口芝合気会=渡辺博之◆大阪武育会=宮島幸子、尾崎改造、西岡茂樹◆田辺道場=木下和之、赤銅健治◆明治神宮至誠館=岩井貴頭、池津雅永◆立川市合気道会=野崎聡◆大宮合気道友会=宮田江津子◆合気道武蔵塾=鎌田朱美◆山口合気会中国青島道場=単翔宇◆孝子道場=上床嘉信◆合気道心会=尾崎和也◆宮城大崎合気会子牛道場=齋田淳一◆CANADA=M.Moyer◆COLOMBIA=J.Gomez, M.Becerra, A.Cicero◆GERMANY=S.Combuchen, A.Schintag, P.Gernhold, K.Geuting, G.Barth◆NICARAGUA=B.Reyes◆AUSTRIA=M.Weichenberger, M.Mayr, A.Kosulin, D.Nestelberger◆RUSSIA=V.Konovlov◆CHILE=S.Royo◆CROATIA=I.Abramovic◆U.S.A.=F.Bohme, J.Nakamura, E.Buchanan, B.Shimokawa, C.Woodby, K.Washington, L.Jackson II, L.Thomason, S.Jackson, D.Murray◆UKRAINE=O.Golovach, O.Stepanyuk◆NEWZEALAND=A.Campbell◆U.K.=R.Linfoot, M.Turner, M.Chahi, P.Mulvanny◆MEXICO=F.Ruiz◆SWITZERLAND=S.Redzepagic◆KYRGYZ=B.Asanov, L.Kim, J.Mamytbekov◆FRANCE=D.Fievet, O.Regnard, F.Roset, P.Pierre, J.Dabadie, B.Sabouret◆MALAYSIA=S.Lee, M.Kushairi◆SINGAPORE=J.Lin,

S.Chi, M.Aw, A.Mitchell, H.Ginosusanto, K.Ong, I.Teo◆中国=凌駿、朱博海◆韓国=尹竣桓

【二段】

◆青森道場=田中叶◆厚木合気道クラブ=増井道吉◆無為会=鈴木宜雄◆愛媛合気道会=中丸剛◆旭合気道クラブ=毛利靖洋◆茨城県合気道連盟=海老根秀明◆浦帆道場=藤澤力、篠崎歩◆長崎氣和会=若杉侑加◆熊野塾=M.Kirill, R.Hernani, W.Sophie, M.Latsch◆群馬合気会=高橋みつ代◆広島神武館道場=高木健太◆江東区合気会=浅岡信久◆合気道悠風館=河辺俊秀◆円水会=渡部晴美◆新所沢合気道同好会=森岡史彦、後藤ひろ子◆合気道武友会=D.Dean◆小林道場=丸愛彬、余高峰、張思儉、康德、謝瑜、劉叔甫、柯峰、黃靈威、S.Yarinskiy, I.Bel, D.Alipchenkov, Z.Despotovic, M.Bojovic◆尚武館=大原潤子、水谷陽子◆昭島合気道会=馬場健一◆祥平塾=蔵俊哉◆合気道神戸=M.Davies, P.Gombala◆神武館=道山かおり、渡邊ゆり、安達昌吾◆青葉塾道場=吉村陽◆袖ヶ浦合気会=岩本幸治◆大阪武育会=井上康則、時政克美◆よみうりカルチャー横浜=酒井郷三◆麻布道場=隆俊作、関修治◆名古屋道場=丸尾理沙◆明治神宮至誠館=芦田紗織◆倉吉道場=野田萌子◆寒川合気会=彌永浩司◆茶友会=伊藤由紀乃◆三菱養和会武道スクール合気道塾=岸本浩一、布村秀夫◆合気道心会=坂口雅、多田真由美◆東北大学=三好崇之、高梨暁◆CANADA=M.Streibel◆U.K.=T.Sullivan, J.Dawson, A.Fleet, R.Mcalpine, M.Chahi◆SERBIA=M.Kulic◆COLOMBIA=F.Acosta, M.Ocando, A.Granados◆GERMANY=J.Riedel, B.Coldehoff, L.Rosner, B.Deppe, D.Engler, F.Marno, J.Schafer, U.Eggers, R.Kuhl, B.Hardekopf, M.Hubner, R.Voit, L.Jagschies, S.Babel◆NICARAGUA=L.Guadamuz◆LEBANON=R.Stephan◆ROMANIA=G.Juhasz◆BOLIVIA=I.Arispe◆NETHERLANDS=I.Braak◆CHILE=V.Huichalaf◆AUSTRIA=E.Greiner, S.Karger, M.Riess◆POLAND=D.Niewdana, J.Zieba◆CROATIA=K.Tomacic◆U.S.A.=M.Fedotovskiy, M.Sheldon, S.Burrell, F.Elge, P.Franklin, J.Jordan, K.Kirill, C.Penaranda Jr., J.Kroupa, M.Degnan, R.Sexauer, R.Roemer, M.Merker, M.Stevenson, E.Wegner, S.Ruocco, D.Gargrave, S.Stahurski, S.Norwood, A.Magana, L.Barnhill, F.Poindexter, J.Bennett, S.Grauer◆ARGENTINA=R.Mastandueno, S.Girbau◆UKRAINE=O.Krykunenko◆NEWZEALAND=R.Campbell, H.Kruger, M.Hill◆RUSSIA=S.Gazizov, A.Alekseev, D.Yarmonov◆VENEZUELA=D.Vasquez◆MEXICO=M.Reynoso, A.Romero, C.Ortega, D.Torres, C.Bernal, A.Flower◆SWITZERLAND=J.Barocco, Y.Heusser, A.Naarden, M.Wolff◆KYRGYZ=A.Khabidulin, K.Kalykov, G.Jilinkov, R.Rekhin◆FRANCE=D.Lucien, D.Fievet, O.Regnard, F.Roset, P.Pierre, J.Dabadie, B.Dallali, D.Joliez, B.

Sabouret◆MALAYSIA=J.Ahmat◆SINGAPORE=E.Jimmy, M.Lim, M.Wong◆中国=吴文捷、高立軒、徐晟、U.Mierswa◆韓国=林穂燕、文千洙、全燦珪、宋昊哲、林宰佑

【初段】

◆青森大湊道場=皆野勇◆円水会=小向和樹◆青森道場=田中篤◆Y.I.S.YOKOHAMAINTERNATIONALSCHOOL=Y.Hitachi◆厚木合気道クラブ=伊藤孝之◆無為会=小林千都子、山崎猛◆蓼科道場=早坂匠◆茨城県合気道連盟=鈴木善之◆花見川道場=小野傑◆長崎氣和会=牟田晶、藤田健太郎◆熊野塾=上地陽太、汐崎さと実、D.Delmonico, A.Tay, R.Jose, B.David◆江東区合気会=田中修一、福地勇二◆合気道悠風館=響田誠、五艘史朗、宇野津晶◆新所沢合気道同好会=星野哲毅、大旗広光◆合気道武友会=海老沼茂、大塚健司◆小林道場=劉建偉、林禹誠、謝忠隆、楊如玉、駱思龍、陳文昌、王文楓、楊忠翰、林宜璇、劉祖誠、尹聖杰、章炎、曹政、陳鵬、劉宇、熊杰、李冉、許文彦、A.Waits, D.Kaykov, A.Ignatova, A.Velikov, G.Georgiev, A.Makeeva, Y.Makeeva, M.Djuric, M.Vukic, S.Rakic, D.Nikic, F.Verovski, N.Novakovic◆昭島合気道会=田中耕介、岩本慎司◆祥平塾=上田親藏、國井信哉、河本裕良◆合気道神戸=山下慎治、M.Jones◆神武館=角野良佳、成瀬知重、渡邊早紀◆成増ロンド=豊川秋大◆青葉塾道場=白濱慶太、鈴木俊太郎、水尾怜奈、武童羅阿仁洲、金川洋、桑原和喜◆A & P石垣道場=木下雅之◆千葉合気道館=中村健一◆袖ヶ浦合気会=吉田哲也◆大阪合気会=向井香名子、伊藤智枝子◆大阪武育会=長尾昌彦◆大手前学院=岩室俊樹◆津合気道会=落合悦子、湊隆太◆天心道場=山崎裕介、P.Zeferino, A.Pereira, F.Azevedo, A.Ribeiro◆田辺道場=倉尾直樹、古川勇喜◆麻布道場=伊藤裕美子、大宅尚美◆明治神宮至誠館=小松花穂◆立川市合気道会=山路司◆藤浪塾=浜田守彦◆光道会=塩谷文都、藤岡勇◆益子道場=山崎晋二◆寒川合気会=住田晶子◆大根合気道同好会=中森太一◆美陵会=J.Camaraza◆大宮合気道友会=池田繁明◆三菱養和会武道スクール合気道塾=内藤まり◆孝子道場=上谷彩葉◆合気道心会=相田和憲◆青森県武道館道場=品川福太郎◆和洋国府台女子高等学校=落合ひな、佐々木梨花、佐藤沙也夏、茂田奈々、角田美咲、廣瀬彩香、本田みなみ、山口真依、吉村智江◆四天王寺高等学校=小畑淳那、乾莉佳子、峯村香澄、矢島佳奈、太田瑞貴、福井真優、岡田美悠、友田晴奈、花尻美月、島田悠祈◆兵庫県立東播磨高等学校=岡田咲紀、長岡友子、岸本泰典◆学習院大学=山口良太、太田秀一、鈴木健太、田中仁太、首藤邦春◆九州大学=根之木久美子、久田優美、堀江竜馬◆群馬大学=小澤萌子、鳥毛佑起、藤城明日香、堀田孟行、保田和奏◆信州大学=赤羽真理子◆相山学園大学=向笠亜美◆青山学院大学=岩片基、鈴木裕之◆筑紫学園大学=伊藤亜沙美◆中京大学=倉知克裕、河田萌、山越有紗、宗方優樹、鳥田涉、熊崎陽介、小川萌、鈴木悠一郎、壁谷竜亮◆東海大学望星学塾=長谷川葉月◆同志社大学=城内優里◆日本歯科大学=五十嵐健亮◆福岡工業大学=佐藤政樹◆福岡大学=安達健之輔

◆防衛大学校=小林賢尚◆北九州市立大学=難波洋平◆名古屋商科大学=吉田伊織◆電気通信大学=宮尾隆太郎◆CANADA=J.Mitchell◆U.K.=M.Santiko, M.Chahi, P.Kahawatte, M.Mcloughlin◆SERBIA=N.Brkcic, S.Markovic, V.Vojvodic, D.Nikolajevic, L.Budisa, N.Sretenovic, V.Jokic, D.Kulicic, S.Milojevic, I.Kulic, I.Obradovic, G.Rosulj, R.Dokovic, I.Karanov, M.Ristic◆COLOMBIA=R.Mora, A.Nipitella, W.Arango, J.Finol, G.Morato, J.Naranjo, R.Lara◆GERMANY=B.Reuter, R.Grochtmann, M.Bultemann, P.Keil, M.Kauffmann, H.Koertzel, J.Ditz, P.Kalitta, P.Murray, M.Scherrmann, A.Burghardt, J.Koch, C.Schwemmer, A.Kowalski, M.Sonnenberg, D.Braatz, T.Jost, F.Petermann◆ROMANIA=V.Ioncu◆AUSTRIA=M.Bachner, D.Kock, R.Islam, O.Wittmann, M.Lahnsteiner, R.Sitter, A.Ehrenecker, M.Lenczuk, A.Birnbaumer, M.Kindermann, M.Kogler, W.Mayerhofer, M.Boeckle, D.Derflinger◆BOLIVIA=H.Alcocer◆NETHERLANDS=B.Pol, R.Katen◆U.S.A.=J.Gaffney, P.Murphy, A.Reiss, G.Carpenter, C.Genzano, D.Williams Jr., P.Giuliano, C.Crawford, G.Hilgenberg, L.Proctor, L.Parker, S.Mostafavipour, A.Young, C.Ly, C.Penaranda Jr., B.Ekvall, A.Figueroa, N.Francesco, E.Hadrish, F.Kirstein, D.Patton, S.Patton, O.Piha, O.Schulze, S.Searle◆ARGENTINA=A.Burroni, D.Polimeni, E.Chiesa, M.Paolassi◆RUSSIA=S.Lapshinskiy, A.Devyatov, B.Shagdurov, D.Pristromov, P.Adamov, S.Landik, A.Matveev, S.Bashkin, B.Kardash, A.Kiseleva◆LUXEMBOURG=Y.Sales◆VENEZUELA=V.Sanchez, M.Delgado, D.Cumana◆MEXICO=A.Ramirez, R.Ojendez, F.Bilbao, M.Bulnes, R.Martin, A.Hernandez, M.Leal, O.Gomez, E.Trejo◆SWITZERLAND=S.Cicero, I.Holder◆KYRGYZ=M.Eraaliev, E.Aidaraliev, B.Kazakov, B.Kurmanbekov, T.Razakov, N.Aibashov, E.Lukerchenko, N.Nyazbekov, M.Sherbakov, R.Makhu, A.Kojomberdieva, K.Ernazarov, T.Bektemirov, A.Borosheva, S.Moldoev, A.Jorobaeva, T.Kazakov, T.Barakanov, M.Konushaliev◆UKRAINE=V.Dyba, I.Ivakhina, S.Sarychev, O.Mudryk, I.Cherednichenko◆FRANCE=L.Courteix, V.Roger, D.Sirot, Y.Stevant, J.Messinger, O.Regnard, F.Roset, P.Pierre, J.Dabadie, B.Dallali, D.Joliez, B.Sabouret◆BULGARIA=S.Ivanov◆MALAYSIA=M.Effendi, M.Dalimi, R.Rudy◆SINGAPORE=丘幼琳, J.Chiu, T.Baraba, C.Nguyen, K.Tai, T.Alvin, A.Yeo◆中国=森憲嗣、左曉牡、沃思静、苏文杰、姜翊周、除斌、張崎、陳潤、高貝諸、除時開、F.Buron◆韓国=張ナリ、李允範、林晶燮、鄭宗赫、韓吉導、朴泰勳、安斗和、任鍾源、河秀東、權規、金希淑、洪枝延、鄭多希、柳炯圭、金周歡、柳五熙

YAFFRがモスクワでセミナー
私(桂田)は、五月三十日から六月二日まで、YAFFRのセミナーのためロシア・モスクワを訪れた。五月三十一日、子供一時間、大人四時間半の講習会、六月一日、大人二時間の講習会を行った。同連盟の講習は三度目となるが、年々実力が上がっているのを感じる。前よりもはつきりと思慮疎通が通じる嬉しさを感じながら帰国した。(本部道場指導部師範 桂田英略)

◇本部たより
▽植芝充央本部道場長代行は、七月二十五日から二十八日までマレーシアの講習会で指導される。随行は徳田雅也指導部員。
▽藤巻宏指導部師範は、七月三日から八日までレバノンの講習会に派遣された。
▽佐々木貞樹指導部師範は、七月十一日から十七日までオランダの講習会に派遣される。
▽入江嘉信指導部師範は、七月二十三日から二十八日までロシアの講習会に派遣される。
▽宮本鶴蔵指導部師範は、七月二十五日から八月三日まで昆崙会ヨーロッパセミナーの講習会に派遣される。

◇お詫と訂正

先月の合気道新聞六月号のフランスの記事の中で、「レオランド大統領」とあるのは「オランド大統領」の間違いです。また、写真のキャプションを「写真右からティンエ師範、昭恵夫人、オランド大統領、安倍首相」に訂正させていただきます。訂正して深くお詫び致します。